

生命いのちの言葉 平成二十九年二月

道にただ身をば捨てんと思ひとれ  
必ず天の助けあるべし

しまづ じっしんさい  
島津日新齋

裏面もご覧ください。

生命いのちの言葉  
二月

正しい事のために  
命がけでのぞめば、  
必ず天の助けがある。

「『島津日新いろは歌』旧記雑録」より

島津日新齋 (しまづ じっしんさい)

明応元年(二四九二)〜永禄十二年(一五七〇)。

(一五三八)

本名は島津忠良。薩摩国守護島津家の分家伊作島津家の嫡男として生まれる。宗家継承を巡り混乱した薩摩国内を鎮め、戦国大名島津家の基礎を築く。琉球貿易、殖産興業、家臣団の教育に力を尽くし、特にその教育論は薩摩独特の土風として代々受け継がれた。

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



神社は心のふるさと

未来に受け継ごう

「美しい国ぶり」

今月の祝日

【建国記念の日(十二日)】 本年は、皇紀二、六七七年。建国をしのび、国の誕生を祝い、国を愛する心を養いましょう。